

総務委員会

開催日	令和2年12月11日
時間	午前9時30分～午前9時52分
場所	委員会室
出席議員	浅野 富典、飛永 勝次、天野 武藏、成田 義之 浅井 泰三、伊藤 嘉起、八木 勝之、山内 徳彦
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 宮崎企画部長 石黒企画部次長兼人事秘書課長 後藤企画部次長兼企画政策課長 沢田企業誘致課長 岡田人事秘書課課長補佐 平子総務部長 岩田総務部次長兼財政課長 飯田総務部次長兼財産管理課長 三輪総務部次長兼収納課長 山下総務部参事 楢本総務課長 渡辺税務課長 丹羽危機管理部長 舟橋危機管理課長 吉田会計管理者 平野会計課長 三輪監査委員事務局長
関係職員	浅田議会事務局長 高山議事調査課長 鈴木議事調査課係長
議案または協議事項	1. 総務委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

総務委員会委員長 (浅野 富典君)

皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、ただいまから総務委員会を開催いたします。

なお、ただいまの出席委員は8名でございます。

去る4日の本会議において総務委員会に付託となりました議案について御審議をいただきますが、その前に市長から御挨拶をいただきたいと思っております。

お願いいたします。

市長 (永田 純夫君)

おはようございます。

随分と寒くなってまいりましたが、本日は委員の皆様方には総務委員会への御出席、大変御苦労さまでございます。

新型コロナウイルスにつきましては、勝負の3週間と言われてから2週間がたちました。あと1週間なんですけども、なかなか感染者数が減らないということで心配をいたしているところがございます。

一方で、海外ではワクチンの接種が始まりました。うわさでは、日本では3月か4月ではないかということでございますけども、接種の事務は市町村になりますので、打てるような環境が整いましたら、速やかに打てるように準備をしてみたいというふうに考えております。

本日は、付託されました案件につきまして慎重に御審議を賜り、御賛同いただきますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくをお願いいたします。

総務委員会委員長 (浅野 富典君)

ありがとうございました。

事務局、傍聴者はおみえになりますか。

議事調査課係長 (鈴木 栄治君)

一般傍聴人の方はおみえになりません。

総務委員会委員長 (浅野 富典君)

分かりました。

当総務委員会に付託されました所管は、企画部、総務部、危機管理部、会計課、議会事務局及

び監査委員事務局でございます。

それでは、最初に、議案第69号 愛知縣市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知縣市町村職員退職手当組合同約の変更に関する協議について説明をお願いいたします。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課の石黒でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の提出議案13ページをお願いいたします。

議案第69号

愛知縣市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知縣市町村職員退職手当組合同約の変更に関する協議について

地方自治法第286条第1項の規定により、令和3年3月31日をもって愛知縣市町村職員退職手当組合から尾張市町交通災害共済組合を脱退させること及び愛知縣市町村職員退職手当組合同約を次のとおり変更することについて、関係地方公共団体と協議するため、同法第290条の規定により議会の議決を求める。

令和2年11月30日提出

清須市長 永田 純夫

提案理由

この案を提出するのは、令和3年3月31日をもって愛知縣市町村職員退職手当組合から尾張市町交通災害共済組合を脱退させること及び愛知縣市町村職員退職手当組合同約を変更することについて協議するため、必要があるからです。

ページを跳ねていただき、14ページをお願いいたします。

主な内容を説明いたします。

令和3年3月31日をもって解散する尾張市町交通災害共済組合について、愛知縣市町村職員退職手当組合同約の別表第1、別表第2から削除するものでございます。

なお、この規約は、令和3年4月1日から施行するものでございます。

また、別表第2の規定は、令和3年4月1日以降、最初に実施される議員の選挙から適用するものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

ありがとうございました。説明が終わりました。

ただいまから審議に入りますが、質疑者、あるいは答弁者は必ず挙手をしていただき、指名された後に名前を名のってから、質疑、あるいは答弁に入っていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

それでは、質疑のある方の挙手をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

総務委員会委員長(浅野 富典君)

ないようですので、愛知縣市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知縣市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

総務委員会委員長(浅野 富典君)

ありがとうございました。全員賛成であります。

よって、議案第69号 愛知縣市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知縣市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第70号 令和2年度清須市一般会計補正予算(第9号)案の所管分について、歳入歳出の説明をお願いいたします。

財政課長。

総務部次長兼財政課長(岩田 喜一君)

財政課長、岩田です。

令和2年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書の10ページ、11ページを御覧ください。

歳入です。

19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、補正額3千725万2千円の増額、1節基金繰入金で、説明欄を御覧いただきまして、財政調整基金繰入金の増額です。今補正後の現在高は20億9千35万9千円です。

歳入は以上です。

総務委員会委員長(浅野 富典君)

人事秘書課長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課、石黒でございます。よろしくお願いいたします。

私からは、総務常任委員会の所管分の歳出について御説明させていただきます。

それでは、引き続きまして、説明書の12ページ、13ページをお願いいたします。

1款議会費、1項議会費、1目議会費、補正額130万3千円の減額は、1節報酬から4節共済費まで、人事院給与勧告に基づく期末手当改定及び人事異動等に伴う一般職給与等の64万8千円の減額と人事院給与勧告に基づく期末手当改定による議員報酬等の65万5千円の減額でございます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、補正額4千437万3千円の増額は、1節報酬から8節旅費まで、人事院給与勧告に基づく期末手当改定等による特別職給与等の16万4千円の減額と人事院給与勧告に基づく期末手当改定及び人事異動等に伴う一般職給与等の4千13万3千円の増額と会計年度任用職員報酬等の440万4千円の増額でございます。

5目財産管理費、補正額91万3千円の減額は、1節報酬から8節旅費まで、会計年度任用職員報酬等の減額でございます。

10目交通防犯対策費、補正額42万7千円の増額は、1節報酬と4節共済費で、会計年度任用職員報酬等の増額でございます。

2項徴税费、1目税務総務費、補正額974万3千円の減額は、1節報酬から4節共済費まで、人事院給与勧告に基づく期末手当改定及び人事異動等に伴う一般職給与等の870万6千円の減額と会計年度任用職員報酬等の103万7千円の減額でございます。

次に、14ページ、15ページをお願いいたします。

6項監査委員費、1目監査委員費、補正額568万2千円の増額は、2節給料から4節共済費まで、人事院給与勧告に基づく期末手当改定及び人事異動等に伴う増額でございます。

次に、20ページ、21ページをお願いいたします。

9款消防費、1項消防費、4目防災対策費、補正額22万4千円の増額では、会計年度任用職員報酬等を増額するものです。

以上が、総務常任委員会所管分の歳出の御説明でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

ありがとうございました。説明が終わりました。

それでは、最初に、歳入の10ページ、11ページ、19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金の質疑を受けます。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

飛永副委員長。

総務委員会副委員長（飛永 勝次君）

飛永でございます。

財政調整基金の令和2年度、今回3千700万円、貯金を切り崩してコロナの対策等々に充てていくことになっていると思いますけれども、今日の新聞にも他の自治体の話があったりとか、昨今、他の自治体の話もございまして、コロナの対策に関してこういった形で取崩しを今回もされると。

10億円を当初から充てますよということで財政調整基金を取り崩して、他の自治体をリードするコロナ対策をしてこられたわけですがけれども、非常事態でありながら市民第一の行政運営をこういった形でバランスを取りながら厳しい財政の中されていると思いますけれども、現在までの財政調整基金を使った運用状況と、貯金を取り崩すことになるものですから、崩しながらコロナ対策推進をしてこられましたけれども、運用面のリスクヘッジですとか、そういった面のコメントを頂ければと思います。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

財政課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

財政課長、岩田です。

令和2年度の財政調整基金の取崩しの推移ということだと思いますが、現在まで9号補正までやっております、2号から3号、4号、5号はコロナ対策で財政調整基金を取り崩して市独自の事業を展開した状況でございます。その後、臨時特例交付金を収入しましたので、一旦、財調を取り崩して、表現が適切かどうか分からないんですが、立て替えて、実施した事業を、交付金をもう一度財調のほうに戻して、十分な特例交付金が6億円ほど来たものですから、一般財源で立て替えた分については巻き返すことができたということでございます。

財政調整基金の考え方ということですが、財政課としましては予算査定において基本方針というものを課のほうで定めておりまして、9月補正後に財政調整基金残高が21億円前後となるよ

うに財政運営を考えているところです。

21億円の中身は何かということになりますけども、東海豪雨並みの緊急災害の初期対応経費として合併当初から約10億円は必要だろうということで、10億円をそのために確保しております。今回、コロナの緊急事態でしたので、その10億円をもって約5億円ぐらいたったと思いますが、一般財源のほうに財調を取り崩して対応しました。残りの10億円は何かといいますと、財政調整基金の目的が年度間の均衡を図るためということですので、9月補正後の一般財源の持ち出しですとか、当初予算編成をするときにどうしても今、普通交付税も減額されておりますし、臨時財政対策債も発行しているんですが、どうしても一般財源の取崩しをしないと予算が編成できないという事情もありまして、清須市の財政運営としましては21億円の残高を基本に考えているところでございます。

以上です。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

飛永副委員長。

総務委員会副委員長（飛永 勝次君）

いろいろコメントを頂きましたけれども、清須市としては、こういう非常事態の中、問題、課題がある中でも、バランスを取って、全部リスク回避できてるかというのはまだこれからのこともあると思うんですけども、ある意味予想どおりというか、計画どおりの運営がされとるというふうに安心してよろしいのでしょうかね。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

財政課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

臨時特例交付金6億円というのは想定よりも多かったもので、財政課財政係としましては非常にほっとしたところではあります。

国の1次・2次で6億円できて、今、3次補正、トータルで1兆円が自治体の単独事業に交付されるということで、まだ詳細については分からないんですけども、また交付されたお金については、しっかりと活用できるようにこれから考えていく必要があるかなというふうには考えております。

以上です。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

飛永副委員長。

総務委員会副委員長（飛永 勝次君）

最後に1点だけ、本日の報道でも固定資産税を上げないとか、自動車税のことですとか、来年の税調の一部が報道されておって、このコロナ禍を受けて税収増ということよりも税収減の見込みが非常に高い中、年度末に向けて、今あった3次補正も含めて財政運営をされていかれると思うんですけども、その辺のリスクマネジメントを含めてコメントを頂ければと思います。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

財政課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

今、令和3年度の当初予算編成中でございますので、詳しい数字をここで自信を持って公表すべき数字ではないので、数字については差し控えさせていただきますけども、税収が落ち込むことは十分に予測しておりまして、その落ち込んだ部分を先ほど言いました財政調整基金で賄うのか、あとは臨時財政対策債という方法もありますので、どのような方法で財源を確保していくというのは、予算編成の段階でしっかりと見極めて考えていきたいと考えております。

以上です。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

飛永副委員長。

総務委員会副委員長（飛永 勝次君）

ありがとうございました。

先ほど市長の挨拶にもございましたけれども、勝負の3週間の中で、まだあと1週間、今後どういう方向に振れていくか分からない状況の中での厳しい財政運営になると思いますけども、ぜひ市民の生活を優先とした運営をお願いいたしまして、質問を終わらせていただきます。

以上です。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

その他、10ページ、11ページよろしいですか。

（「なし」の声あり）

総務委員会委員長（浅野 富典君）

ないようですので、次に、歳出に入ります。

12ページ、13ページをお願いいたします。

1 款議会費と 2 款総務費の質疑を受けます。

飛永副委員長。

総務委員会副委員長（飛永 勝次君）

ここに出てきてます会計年度任用職員の報酬に関して少し質問をさせていただきます。

全体的な補正の中で、歳出、会計年度任用職員報酬等というのは、全体的には 2 千 7 0 0 万円の増額という形になっております。これは今年度新たに取り入れられた制度でございまして、要するに、人件費を処遇改善のために少し増やしていくという方向のものになっているかと思えます。ただ、清須市の財政は経常収支比率が予定よりも悪化傾向にあって、89%ぐらいまで行っていたのかな、ここ数年で 2 ポイント、3 ポイント上がっている状況で、福祉施策が膨らんでいくというのは、こういった人件費が非常に膨らんでいく方向になると思うんですが、それを受けて、今回また増えていっている方向になるんですけども、経常収支比率に対しての今後の人件費に対する施策とか、あと、今年度から制度が始まっていると思うんですけども、こういう予期せぬことが非常事態として起こっている中で、人件費プラスアルファになっておるんですけども、この辺のお考えだけ伺えればと思います。今までと今後ということです。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

財政課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

財政課長、岩田です。

経常収支比率の件でいいますと、今まで会計年度任用職員は御存じのとおり臨時職員、賃金で支出をしております、臨時の物件費だったものですから、経常収支比率にはその金額が算入されてなかったわけですけども、会計年度任用職員になって経常の人件費になったので、経常収支比率に大きく反映されますので、今、90%ほどなんですけど、その数値よりも確実に上がることは見込めますので、その数字についてどう分析するというのは、これからまた考え方を改めてお示しするようにはしなくちゃいけないなどは思っております。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

飛永副委員長。

総務委員会副委員長（飛永 勝次君）

先般頂きました財政中期試算の御報告の中にもこのように、「財政の健全性を維持しながら、市民に提供すべき行政サービス、大規模な事業などを着実に実行するためには、時々の経済状況

にも対応しながら、効率的かつ計画的な財政運営が」とあります。会計年度任用職員に関しては人件費の増加ということもここに明記がされておりますので、今おっしゃられたように、財政サービスが低下しないようにと、健全性をしっかりバランスを取って、厳しいこういう状況でもありますけれども、しっかり進めていただけるようお願いをして質問を終わります。

総務委員会委員長（浅野 富典君）

12、13ページよろしいですね。

（「なし」の声あり）

総務委員会委員長（浅野 富典君）

それでは、14、15ページ、2款総務費、監査委員費、1目監査委員費、質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

総務委員会委員長（浅野 富典君）

ないようですので、次に、20ページ、21ページ、9款消防費、1項消防費、4目防災対策費の質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

総務委員会委員長（浅野 富典君）

それでは、ないようですので、これで質疑を終了、令和2年度清須市一般会計補正予算（第9号）案の所管分について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

総務委員会委員長（浅野 富典君）

ありがとうございました。全員賛成であります。

よって、議案第70号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第9号）案の所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

ありがとうございました。

以上で、総務委員会に付託されました議案の審議は全て終わりました。

なお、従来どおり、常任委員会閉会中の継続審査の申出をすることに御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

総務委員会委員長（浅野 富典君）

異議ありませんので、議長に閉会中の継続審査の申出を提出させていただきます。
また、委員長報告につきましては、正副委員長に御一任いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

総務委員会委員長 (浅野 富典君)

異議がありませんので、そのようにさせていただきます。

これをもちまして、総務委員会を閉会といたします。

早朝よりお疲れさまでございました。御苦労さまでした。

(時に午前 9時52分 閉会)

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和2年12月11日

総務委員会委員長 浅野 富典